

# 平成5年度 学校基本調査結果速報

## はじめに

この速報は、平成5年5月1日現在で全国一斉に実施された学校基本調査のうち、本県の集計結果の一部を収録したものです。

集計結果の詳細については、後日「平成5年度茨城の学校統計(学校基本調査結果報告書)」で公表する予定です。

なお、今回ここに登載した数値は、いずれも概数であり、後日文部省で公表する数値が確定数となります。

また、国立の学校については、文部省において直接調査を実施しているため、ここに登載した数値は、公私立の学校についての集計結果となっております。

## 調査結果の概要

### I. 学校調査

#### 1. 小学校

————— 児童数 11年連続減少 —————

#### (1) 学校数

学校数は本校592校、分校2校、計594校で、前年度と同数である。

#### (2) 学級数

学級数は7,719学級で、前年度より85学級減少した。

1学級当たりの児童数は28.9人で、前年度より0.2人減少した。

#### (3) 児童数

児童数は223,327人(男子114,004人、女子109,323人)で、前年度より3,881人減少し、昭和58年度から11年連続の減少となった。

児童数を市町村別にみると、増加したのが2市18町村、逆に減少したのが18市49町村である。

また、第1学年の児童数(本年度小学校入学者)は34,413人(男子17,791人、女子16,622人)で、前年度より909人減少した。

表一1 小学校の学校数等の推移

(単位:校,人)

年 度	学 校 数			学 級 数	児 童 数	教 員 数 (本務者)	1学級 当たりの 児 童 数	本務教員 1人当たり の児童数
	計	本 校	分 校					
昭和63年度	592(1)	589(1)	3	7 943	244 425	10 838	30.8	22.6
平成元年度	592(1)	589(1)	3	7 946	240 016	11 055	30.2	21.7
平成2年度	592(1)	589(1)	3	7 919	235 269	11 061	29.7	21.3
平成3年度	594(1)	591(1)	3	7 918	231 769	11 132	29.3	20.8
平成4年度	594(1)	591(1)	3	7 804	227 208	11 038	29.1	20.6
平成5年度	594(1)	592(1)	2	7 719	223 327	10 991	28.9	20.3

(注) ( )内は私立の学校数で、内数である。

(4) 教員数（本務者）

本務教員数は10,991人で、前年度より47人減少した。

本務教員数を男女別にみると、男子教員が4,376人(39.8%)で、女子教員が6,615人(60.2%)となり、女子教員の占める割合は、前年度より1.0ポイント上昇した。

本務教員1人当たりの児童数は20.3人で、前年度より0.3人減少した。(表—1)

2. 中学校

——— 生徒数 6年連続減少 ———

(1) 学校数

学校数は本校のみ238校で、前年度と同数である。

(2) 学級数

学級数は3,612学級で、前年度より100学級減少した。

1学級当たりの生徒数は34.4人で、前年度より0.2人減少した。

(3) 生徒数

生徒数は124,137人(男子63,344人、女子60,793人)で、前年度より4,245人減少し、昭和63年度から6年連続の減少となった。

生徒数を市町村別にみると、増加したのが18町村、逆に減少したのが20市49町村である。

また、第1学年の生徒数(本年度中学校入学者)は39,607人(男子20,245人、女子19,362人)で、前年度より2,074人減少した。

(4) 教員数（本務者）

本務教員数は6,748人で、前年度より87人減少した。

本務教員数を男女別にみると、男子教員が4,127人(61.2%)で、女子教員が2,621人(38.8%)となり、女子教員の占める割合は、前年度と同率であった。

本務教員1人当たりの生徒数は18.4人で、前年度より0.4人減少した。(表—2)

表—2 中学校の学校数等の推移

(単位：校、人)

年 度	学 校 数			学 級 数	生 徒 数	教 員 数 (本務者)	1 学 級 当 た り の 生 徒 数	本 務 教 員 1 人 当 た り の 生 徒 数
	計	本 校	分 校					
昭和63年度	235(7)	235(7)	—	3 702	143 113	6 591	38.7	21.7
平成元年度	235(7)	235(7)	—	3 694	138 249	6 649	37.4	20.8
平成2年度	234(7)	234(7)	—	3 707	133 572	6 665	36.0	20.0
平成3年度	236(7)	236(7)	—	3 762	130 700	6 882	34.7	19.0
平成4年度	238(7)	238(7)	—	3 712	128 382	6 835	34.6	18.8
平成5年度	238(7)	238(7)	—	3 612	124 137	6 748	34.4	18.4

(注) ( )内は私立の学校数で、内数である。

## ■ 調査から

### 3. 高等学校（全日制・定時制）

——— 生徒数 3年連続減少 ———

#### (1) 学校数

学校数は131校(公立111校, 私立20校)で, 前年度と同数である。

#### (2) 生徒数

生徒数は124,249人(男子62,099人, 女子62,150人)で, 前年度より4,299人減少し, 平成3年度から3年連続の減少となった。

生徒数を公立・私立別にみると, 公立93,174人, 私立31,075人で, 私立校の生徒の占める割合は25.0%となっている。

また, 本科の生徒数(124,154人)を全日制・定時制別にみると, 全日制122,407人, 定時制1,747人で, 定時制の生徒の占める割合は1.4%となっている。

#### (3) 教員数(本務者)

本務教員数は6,885人で, 前年度より10人減少した。

本務教員1人当たりの生徒数は18.0人で, 前年度より0.6人減少した。(表—3)

### 4. 幼稚園

— 私立幼稚園の在園者割合 過去最高 —

#### (1) 園数

園数は本園のみの444園(公立242園, 私立202園)で, 前年度より1園増加した。

#### (2) 在園者数

在園者数は48,953人(男子25,007人, 女子23,946人)で, 前年度より948人減少した。

在園者数を公立・私立別にみると, 公立15,592人, 私立33,361人で, 私立幼稚園の園児の占める割合は68.1%と前年度を0.1ポイント上回り, 過去最高となった。

本年度小学校第1学年児童数に対する本年3月の幼稚園修了者の比率(就園率)は71.4%で, 前年度より0.1ポイント上昇した。

#### (3) 教員数(本務者)

本務教員数は2,592人で, 前年度より16人減少した。

本務教員1人当たりの園児数は18.9人で, 前年度より0.2人減少した。(表—4)

表—3 高等学校の学校数等の推移

(単位: 校, 人)

年 度	学 校 数	生 徒 数			教 員 数 (本務者)	本 務 教 員 1 人 当 た り の 生 徒 数
		計	男	女		
昭 和 63 年 度	130 (19)	132 474	65 918	66 556	6 577	20.1
平 成 元 年 度	131 (20)	135 787	67 574	68 213	6 712	20.2
平 成 2 年 度	131 (20)	137 069	68 270	68 799	6 769	20.2
平 成 3 年 度	131 (20)	133 183	66 268	66 915	6 808	19.6
平 成 4 年 度	131 (20)	128 548	64 029	64 519	6 895	18.6
平 成 5 年 度	131 (20)	124 249	62 099	62 150	6 885	18.0

(注) ( )内は私立の学校数で, 内数である。

表一 4 幼稚園の園数等の推移

(単位：園，人)

年 度	園 数			在 園 者 数			修了者数	就 園 率	教 員 数 (本務者)
	計	公 立	私 立	計	公 立	私 立			
昭和63年度	449	247	202	51 366	18 431	32 935	26 831	71.4	2 485
平成元年度	448	245	203	51 605	17 876	33 729	27 196	72.5	2 527
平成2年度	448	245	203	51 107	17 181	33 926	26 916	72.2	2 549
平成3年度	445	243	202	50 423	16 431	33 992	26 317	71.4	2 565
平成4年度	443	242	201	49 901	15 957	33 944	25 177	71.3	2 608
平成5年度	444	242	202	48 953	15 592	33 361	24 570	71.4	2 592

## 5. 盲・聾・養護学校

### (1) 学校数

学校数は盲学校1校，聾学校2校，養護学校17校で，前年度と同数である。

### (2) 在学者数

在学者数は盲学校91人，聾学校186人，養護学校2,001人で，前年度より盲学校が3人減少，聾学校が1人増加，養護学校が25人減少した。

### (3) 教職員数（本務者）

本務教員数は盲学校71人，聾学校101人，養護学校952人で，前年度より盲学校が7人，聾学校が7人，養護学校が112人と，それぞれ増加した。

本務職員数は盲学校45人，聾学校58人，養護学校252人で，前年度より盲学校が3人増加，養護学校が2人減少した。(表一5)

## II. 卒業後の状況調査

### 1. 中学校

——— 男子の進学率 過去最高 ———

平成5年3月の中学校卒業生数は44,047人(男子22,650人，女子21,397人)で，前年より221人減少した。

卒業者を進路別にみると，「高等学校等進学者」(進学し，かつ就職した者を含む。)42,173人(95.7%)，「専修学校(高等課程)進学者」(進学し，かつ就職した者を含む。)226人(0.5%)，「専修学校(一般課程)等入学者」(入学し，かつ就職した者を含む。)334人(0.8%)，「就職者」(前記の進学者又は入学者に含まれる者を除く。)828人(1.9%)，「無業者」484人(1.1%)，「死亡・不詳」2人となっている。

## ■ 調査から

### (1) 進学状況

高等学校等進学者は42,173人で、前年より46人減少した。

高等学校等進学率は95.7%で、前年の95.4%を0.3ポイント上回り、過去最高となった。

進学率を男女別にみると、男子94.8%、女子96.8%で、女子が男子を2.0ポイント上回っている。

男子の進学率は、前年の94.0%を0.8ポイント上回り、女子の進学率は、前年の96.8%と同率であった。

進学率を市町村別にみると、最も高いのが御前山村(100.0%)で、次いで瓜連町(99.2%)、金砂郷村(99.2%)の順となっており、逆に低いのが、五霞村(86.3%)で、次いで

大洗町(88.8%)、玉造町(89.7%)の順となっている。

### (2) 就職状況

就職者828人に、高等学校等進学者のうち就職している者133人、専修学校(高等課程)進学者のうち就職している者4人、及び専修学校(一般課程)等入学者のうち就職している者5人を加えた、就職者総数は970人で、前年より196人減少した。

就職率は2.2%で、前年を0.4ポイント下回り、過去最低となった。

就職者総数を県内・県外別にみると、県内811人、県外159人で、県外就職者の占める割合は16.4%となり、前年より0.1ポイント低下した。(表-6)

表-5 盲・聾・養護学校の学校数等の推移

(単位：校、人)

年 度	盲				聾				養 護			
	学 校 数	在 学 者 数	教 (本 務 者) 員 数	職 (本 務 者) 員 数	学 校 数	在 学 者 数	教 (本 務 者) 員 数	職 (本 務 者) 員 数	学 校 数	在 学 者 数	教 (本 務 者) 員 数	職 (本 務 者) 員 数
昭和63年度	1	114	51	40	2	205	85	55	17	1 997	732	239
平成元年度	1	112	52	40	2	194	86	55	17	2 021	736	243
平成2年度	1	103	52	40	2	188	85	55	17	1 994	742	246
平成3年度	1	101	55	41	2	188	90	57	17	2 008	775	245
平成4年度	1	94	64	42	2	185	94	58	17	2 026	840	254
平成5年度	1	91	71	45	2	186	101	58	17	2 001	952	252

表一六 進路別卒業生数（中学校）

（単位：人、％）

年度	卒業生数	A. 高等学校 等進学者	B. 専修学校 (高等課程) 進学者	C. 専修学校 (一般課程) 等入学者	就職者	無業者	死亡 ・ 不詳	A, B, C のうち 就職して いる者 (再掲)	進学率	就職率
63	49 006	45 928	…	884	1 501	679	14	282	93.7	3.6
元	49 265	46 286	…	868	1 478	628	5	288	94.0	3.6
2	48 690	46 124	246	525	1 368	420	7	339	94.7	3.5
3	45 766	43 349	229	518	1 226	442	2	241	94.7	3.2
4	44 268	42 219	205	368	1 012	463	1	154	95.4	2.6
5	44 047	42 173	226	334	828	484	2	142	95.7	2.2

- (注) 1. 高等学校等進学者、専修学校(高等課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者には、進学又は入学して就職している者を含む。  
2. 平成2年度までは、専修学校等入学者であったものを、平成3年度から専修学校(高等課程)進学者と専修学校(一般課程)等入学者に分けて集計を行った。

## 2. 高等学校

### —— 進学率 男女とも過去最高 ——

平成5年3月の高等学校卒業生数は43,640人(男子21,601人、女子22,039人)で、前年より380人減少した。

卒業生を進路別にみると、「大学等進学者」(進学し、かつ就職した者を含む)12,192人(27.9%)、「専修学校(専門課程)進学者」(進学し、かつ就職した者を含む)8,497人(19.5%)、「専修学校(一般課程)等入学者」(入学し、かつ就職した者を含む)6,373人(14.6%)、「就職者」(前記の進学者又は入学者に含まれる者

を除く。)14,465人(33.1%)、「無業者」2,078人(4.8%)、「死亡・不詳」35人となっている。

### (1) 進学状況

大学等進学者は12,192人で、前年より488人増加した。

大学等進学率は27.9%で、前年を1.3ポイント上回り、過去最高となった。

進学率を男女別にみると、男子が20.0%で、前年を1.3ポイント上回り、女子が35.7%で、前年を1.5ポイント上回って、男女とも過去最高となった。

## ■ 調査から

### (2) 就職状況

就職者14,465人に、大学等進学者のうち就職している者17人、専修学校(専門課程)進学者のうち就職している者43人、及び専修学校(一般課程)等入学者のうち就職している者159人を加えた、就職者総数は14,684人で、前年より1,614人減少した。

就職率は33.6%で、前年を3.4ポイント下回り、過去最低となった。

就職者総数を県内・県外別にみると、県内11,785人、県外2,899人で、県外就職者の占める割合は19.7%となり、前年より0.7

ポイント低下した。

就職先を産業別にみると、製造業5,726人(就職者総数の39.0%)と最も多く、次いで卸売・小売業、飲食店3,123人(21.3%)、サービス業2,954人(20.1%)等となっている。

就職者総数を職業別にみると、技能工・採掘・製造・建設作業員及び労務作業員5,671人(就職者総数の38.6%)と最も多く、次いで事務従事者3,581人(24.4%)、販売従事者2,307人(15.7%)等となっている。(表一七)

(統計課・人口労働グループ)

表一七 進路別卒業生数(高等学校)

(単位:人,%)

年度	卒業生数	A. 大学等 進学者	B. 専修学校 (専門課程) 進学者	C. 専修学校 (一般課程) 等入学者	就職者	無業者	死亡 ・ 不詳	A, B, C のうち 就職して いる者 (再掲)	進学率	就職率
63	38 753	9 113	…	11 828	15 744	2 049	19	278	23.5	41.3
元	40 590	9 610	…	12 336	16 672	1 958	14	224	23.7	41.6
2	42 126	10 272	7 170	6 243	16 877	1 559	5	265	24.4	40.7
3	43 905	11 352	7 660	6 425	16 699	1 764	5	221	25.9	38.5
4	44 020	11 704	8 434	6 194	16 063	1 623	2	235	26.6	37.0
5	43 640	12 192	8 497	6 373	14 465	2 078	35	219	27.9	33.6

- (注) 1. 大学等進学者、専修学校(専門課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者には、進学又は入学して就職している者を含む。  
2. 平成2年度までは、専修学校等入学者であったものを、平成3年度から専修学校(専門課程)進学者専修学校(一般課程)等入学者に分けて集計を行った。